

うなばら



発行：五十嵐小学校

新潟市西区寺尾西4-23-1 (〒950-2064)

Tel.025-269-3117(代) Fax.025-269-3118

E-mail : e710ikarashi@city-niigata.ed.jp

URL : <http://www.ikarashi-e.city-niigata.ed.jp/>

「笑顔が触れ合う一日に」

校長 諸橋 智

今日で令和4年度前期が終了します。年間203日の授業日の内、約半分の100日を終えることとなります。学校や世の中が、あらゆることに自粛を求められてきた日々からようやく解放され、活気を取り戻しつつあり、転換の時を迎えているように感じます。



不自由な中であるからこそ、五十嵐小学校は行事の精選を行うとともにその在り方を見直してきました。この見直しの上で大切にしてきたことは、結果よりも過程を重視する指導を行うことでした。これを具体化した「全校なかよし遠足」が、いよいよ10月25日に近づいてきました。

子どもたちは実施に向けて、前期の間、準備を重ねてきました。なかよし班活動の時間を活用し、力を合わせ何度も話し合いました。6年生のある児童は「リーダーの僕たちが行き先を決めるのではなく、メンバーの意見を引き出し、まとめて決めてきます。」と意気込んで臨みました。話し合



いを終え教室に戻るや否や「行き先の意見はたくさん出たけど、残念ながら決めるところまではできませんでした！」とマネジメントの難しさを感じながらも考えを引き出したことに満足していました。このような一連の活動を重ねることが豊かな学びとなり、折り合いをつける力を育むとともに達成感や自己有用感を高めてくれると考えています。

裏面へ ⇒

五十嵐小学校のなかよし遠足の最大のねらいは、「力を合わせて困難を乗り越えること」つまり生きる力を育むことです。私たち教員が考えたことは、「行き先」や「道順」ではなく、「何をどのように子どもたちに考えさせ、決めさせるか」ということでした。全教員で何度も考え合った結果、行き先やスケジュール、安全等について班で相談させ、子どもたちに決めさせることにしました。

最後まで悩んだことは、大人の付き添いを付けるかどうかということでした。子どもの安全を考え48班すべてに付き添うという選択もありますが、それよりも大人の関わりを最小限にとどめ、子ども同士の交流や支え合いを活性化させることを私たちは重視しました。結果的に多くの班には大人が付き添いません。それでもきっと、子どもたちは力を合わせ、この大冒険を成功に導いてくれると期待しています。



この大冒険の遠足は、コミュニティスクール共催としていただきました。コミ協、見守り隊、交安協、PTA等の構成団体の皆様から、多大なるご協力をいただきます。多くの方々から、碁盤の目のように定点観察に立って見守っていただく計画を練っているところです。一人でも多くのボランティアが必要です。ご協力をお願いします。

また、近隣の学校や公共施設、子ども110番の家、各商店の皆様からも、トイレや活動場所の提供をいただきました。心から感謝申し上げます。



30分でも結構です。また、ご自宅前でも結構です。保護者、地域の皆様は、外に出て「こんにちは!」「どこに向かっているの?」と声を掛けてください。沿道からのご声援をお願いします。

五十嵐小学校区が、何百何千何万もの笑顔が触れ合う一日になることを願っています。

